

要約することができる。社会保険制度による女子の社会的保護に採用されるなんらかの修正は、寡婦に対する保護制度ときわめて密接に関連させて、検討されなければならない。

寡婦に対する無制限な年金は、現在の形を維持することができないであろう。寡婦に対する規定を取扱うには、保護に対するニードが特殊な目立ったものに与えられるべきである。幼い子供を育てている寡婦への社会的

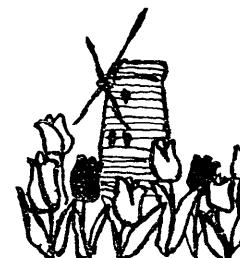
給付は、寡婦が財政的な理由で雇用を求める義務がないように定められるべきである。原則的には、かん夫は寡婦と同様な社会的保護を享受すべきである。

Witwenrente und Reform der sozialen Sicherung der Frau, *Soziale Arbeit*, No. 2, 1970, pp. 49-59; No. 94, '70.

の手続きを観察する義務をもっている。社会保障の改善にみうけられる満足は、恐らく、制度の簡素化に失敗したためであろう。

現在の複雑な仕組みは、制度の効率についても問題をもたらしている。とくに、簡素化の欠如は、各種の団体と関係をもたなければならぬ制度の参加者、つまり、使用者と被保険者の双方を混乱させている。使用者の場合には、これは拠出がかれらに用いられる拠出率ばかりでなく、また保険の異なる部門の事故発生率によっても異なるということを意味している。

社会保障の簡素化



(オランダ)

本稿には、オランダにおける社会保障制度の主要な改正を取り扱っているオランダ労働党によるある報告の評価が示されている。

現在実施されている社会保障制度は、それが現われて以後における重大な社会的対立の

跡を示している。時の流れとともにに行なわれた改善と拡張は、しばしば理解するのが困難な法令を生んできた。管理・運営は多数の行政機関の手に委ねられており、それらの機関は諸給付に対する権利を決定するために複雑な諸規則を適用したり、また、冗長な運営上

これらの理由に対して、労働党の科学部は現行社会保障制度を簡素化する可能性を検討するために、ある作業グループを設けた。その報告で、その作業グループは多数の方法を主張しているが、そのうち最も重要な方法は次に示されるものであった。

家族手当保険はある全国的な制度に変えられるべきで、その制度では、世帯の賦課金に

に対するリベートが併合される。この合併は給付のことをいうのではなく、社会保障制度のみならずまた企業の財政的な管理・運営をも簡素化することになる。補足的年金のある単一の制度は、別々の企業や産業、あるいは産業の各部門に対する各制度に代って¹⁾、全賃金労働者をカバーするであろう。廃疾保険は全人口に拡大されるべきである。

賃金労働者に対する保険制度の管理・運営は、ある単一の組織による全国的な国民保険に合併される。その合併は職業別の組合、つまり、現在、賃金労働者に対する疾病、廃疾および失業保険の管理・運営の責任を担当し、協力している団体の消失を意味している。現在産業毎に異なる疾病、失業保険の拠出は、すべての社会保障拠出を租税徴収機関によって徴収できるようにして、ある統一的な拠出率にすべきである。単一の機関による管理・運営の体系は、無数の地方事務所を包括すべきである。その理由は、すべての拠出者が社会保障について必要とする情報を、すべてある単一の事務所で手近に見つけることができ

るようするべきであるという重要性をもっているからである。社会扶助と職業紹介は同一建物に配置されるであろう。その組織は賃金労働者、自営労働者および使用者の各代表により管理されるべきである。

作業グループは、その提案が法律の実施にまた、社会保障制度のみならず、産業の経済

的な立場と同様に、恐らく法律の立場にもより大幅な簡素化をもたらすであろう。

注1 1968年の Abstract No. 98 参照。

Vereenvoudiging van de Sociale Versekering, Wiardi Beckman Stichting, Deventer, Kluwer, 1970, 77 pp.; No. 101, '70.

賃金支払継続と労働組合



Alfred Tchmidt (西ドイツ)

本稿には、最近の疾病保険法に関する労働組合の見解が述べられている。

賃金支払継続法は、疾病の場合に、賃金労働者と俸給取得者を経済的および法律的に同一化させる手段の採用に対して、長年にわたり西ドイツ労働組合により提出されてきた要

求を実現させている。疾病金庫に対する医学的助言者のサービスの承認は、ある重要な前進となっている。同時に、労働組合が後退とみなす疾病金庫改正（費用分担の増大、年金受給者の拠出支払いなど）により、諸規定が出された。